

# いかご I K A G O 通信

滋賀県湖北地域振興局木之本建設管理部  
〒529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田1234  
TEL 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654  
E-mail ha3602@pref.shiga.jp  
URL http://www.pref.shiga.jp/h/ki-doboku/

## 「みんなで造る 奥琵琶の未来へつなげる道と川」

「奥琵琶の未来へつなげる道と川」を木之本建設管理部のキャッチコピーとして決定しました。このキャッチコピーのもと職員一同が一丸となり、みなさんと共に伊香郷の未来を築いていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

10月になり、ようやく秋風が爽やかな季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、我が木之本建設管理部では職員からネーミング案を募り、全職員の投票により「みんなで造る

## あんしん あんぜん 「大規模地震にも負けない道づくり」

去る9月5日(日)に、滋賀県で大規模地震(震度5弱以上)が発生した場合に備えるために、県下一斉に土木技術職員全員参加のもと道路や河川の公共土木施設の点検・パトロールの訓練を行いました。木之本建設管理部でも当日、21名の職員が訓練に参加しました。

国道303号は、大規模な地震が発生した場合に、避難・救助活動をはじめ物資の供給や諸施設の復旧等を行うための「緊急輸送道路きんきゆうそうどうろ」に指定されています。

現在、県では大規模地震発生時の応急対策活動を円滑に行うために、非常事態に対応した交通の確保を目的に橋の耐震補強工事を行っています。これまでに、西浅井町の新栄橋しんさかえばし・稲田大橋いなだおおはし、木之本町の木之本大橋きのもとおおはしの耐震補強工事を行いました。今後は、木之本町の杉野橋すぎのばし・蕨橋わらびばしの耐震補強工事を行う予定をしています。

### 【橋梁耐震補強工事箇所および工事予定箇所】



[稲田大橋(対策工事済): 西浅井町]



[杉野橋(対策工事未): 木之本町]



← 大地震でも橋桁が落ちないように橋桁と橋台をケーブルで連結しました。  
(新栄橋: 西浅井町)

# みんなで守ります 「伊香の河川愛護活動」の巻

今回は、地元自治会等の協力を得て実施されている河川愛護活動をご紹介します。

河川愛護活動とは、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川を美しく保ち、正しく安全に利用する運動のことで全国的に展開されています。木之本建設管理部管内（伊香郡内）においても地元自治会の皆さんに多数参加していただき、余呉川、高時川などの河川敷の草刈りやゴミ拾いなどを行って頂いており、川が美しくなりました。ご協力頂きました皆さま、有り難うございました。

なお昨年度は、伊香郡内の余呉川、高時川など33の河川で、のべ4,038人（74団体）が参加していただき、面積451,970㎡（田圃45町分）の区域の草刈りやゴミ拾いが行われました。

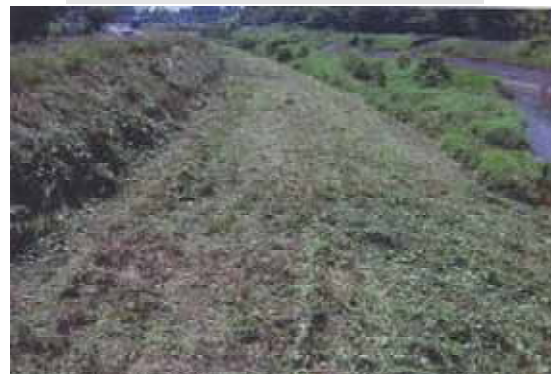
（左表：H15年度実績）

町名	河川数	参加人数	参加団体数	面積(㎡)
高月町	3	972	16	146,380
木之本町	7	1,021	20	46,750
余呉町	16	978	19	104,740
西浅井町	7	1,067	19	154,100
合計	33	4,038	74	451,970

参加団体による草刈り作業（余呉川：高月町磯野区）



こんなにきれいになりました



## 事業紹介 「奥の谷通常砂防事業」



高月町馬上の奥の谷は谷の出口付近に道路や人家があり、土石流が発生すると人命や財産に多大な被害が発生すると予想されます。そこで、平成15年4月より砂防ダムを施工しています。ダムの完成に引き続き、下流の水路の整備を進め、平成17年3月末には全ての工事が完了する予定です。

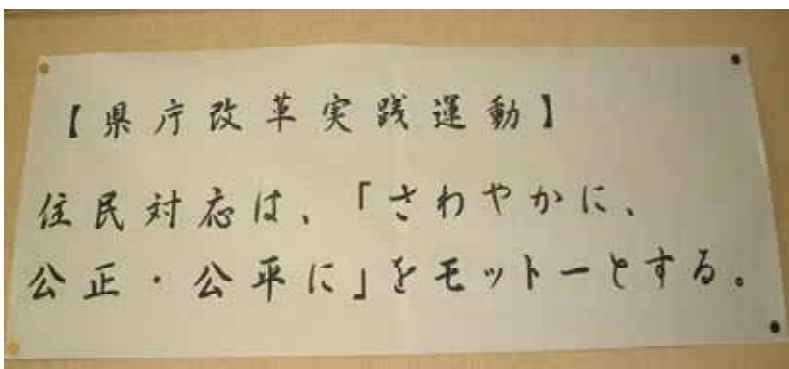


▼ ダムの高さは7.5mでダムの長さは51.5mです。このダムの特徴は、土石流に伴う流木を鋼製スリットでせき止め、流木による被害を防止する仕組みになっているということです。また、ダムの表面に間伐材を貼り付けることで景観にも配慮しています。

（工事担当：河川砂防課 砂防担当）



## こんなことやっています 「県庁改革実践運動」



現在滋賀県では、職員の意識改革を高めるため、全ての職場で「けんちょういかくじっせんうんどう県庁改革実践運動」に取り組んでいます。

本年度、我が木之本建設管理部では、『住民対応は、「さわやかに、公正公平に」をモットーとする。』をテーマにこの取り組みを行っています。

具体的には、室内の整理整頓、案内の充実を行うと共に、相手の方にさわやかに感じて頂ける接客・電話対応などにも心がけてまいりたいと考えております。

今後、来庁者の方に職員の対応などをお尋ねするアンケートを予定しておりますので、皆さまのご協力をお願いします。



(上：庁舎周辺清掃(H16.7実施)



各課案内表示板（外国語併記）



← 建設管理部入口に、各課の案内板を設置しました。

## この日何の日

11月18日は「どほくのひ土木の日」です。

土木の日とは、毎年11月18日に、「土木」のイメージアップと、「土木」に対して地域の皆様に理解、認識を深めていただくために、昭和62年から11月18日を「土木の日」と定められています。この日には、全国各地で様々なPR活動などが行われています。

11月18日が「土木の日」と呼ばれる理由は2つあります。

- ・1つ目は、「土木」という文字をバラバラにすると、「土=十一」、「木=十八」となるためです。
- ・2つ目は、土木の日を提唱した「土木学会」の創立日が、明治12年11月18日だからです。

## 地域の魅力紹介 湖北地方の民家について

ここでは湖北地方の民家についてお話しします。  
 湖北地方の民家は「伊香造り」と呼ばれているのをご存じでしょうか。あまり聞き慣れない言葉ですが、民家研究の分野では「合掌造り」や「町屋」等と並び代表的な形としてこう呼ばれてます。その特徴は、「妻入り」と言われる平面形式と「前だれ」と呼ばれる棟飾りです。妻とは外観のうち屋根の三角形が見える面のことで、「妻入り」とはこの面に入り口があることです。湖北地方の民家には「妻入り」形式がよく見受けられますが、草葺きの民家で「妻入り」形式は全国的にみてもめずらしい形式です。

また「前だれ」と呼ばれる棟飾りは、妻面の頂上に棟をおさえた丸竹を縛る縄を放射状に引き集め、そ

の縄を二つ割りした竹で扇の骨の形のようにカバーした形です。特に入り口が妻面にある「妻入り」では「前だれ」がよく目立ち、存在感をアピールしているようにも思えます。

近年は草葺きの材料となる萱や葦、それを葺く職人が少なくなり、金属板で覆われた民家も多くみられますが、それでも「前だれ」のデザインを残されているところもあり、お施主さんの民家に対する愛情を感じます。

また、これら「伊香造り」の形は地域や集落によっても微妙に違いがあり、町を歩きながら違いを発見することも楽しいものです。

(参考文献：吉田桂二 「民家ウォッチング事典」)



きのもとちょうおおと  
 <左絵と写真>木之本町大音  
 いかごじんじゃ  
 ・伊香具神社の立派な前だれ  
 ・神社仏閣も、地域の建物のデザインを色濃く踏襲しています。

## お知らせ



### あなたも「健康づくりサポーター」に！

健康づくりサポーターとは

- \* 「健康に役立つと考える取組みをしている企業・商店・団体です
- \* いきいき・元気な「こだわり宣言」とステッカーを掲げます。

[申し込み・問い合わせ先] 湖北地域健康いきいき推進会議事務局

TEL 0749-65-6663 FAX 0749-63-2989

下記ホームページでも紹介されています

<http://www.pref.shiga.jp/e/n-hwc/network/>

### 編集後記

今年の夏は、連続真夏日の記録更新となった猛暑、台風、集中豪雨などの異常気象に加え、アテネオリンピックでの日本勢の活躍、高校野球での北海道勢の初優勝など、話題に富んだ大変暑い夏でした。

このような暑かった夏も終わり、いよいよ秋本番です。夏の疲れを癒し、みなさまにとっても、輝き実り多い秋となるよう、がんばりましょう。これからも、皆さまに興味をもって読んでもらえる I K A G O 通信となるよう、私たちスタッフ一同、さらに努力していきたいと思っておりますので、応援のほどよろしくお祈りします。 木之本建設管理部パブリシティ委員会一同

【ご意見・お問い合わせ先】 木之本建設管理部 計画調整課

電話 TEL : 0749-82-3881

電子メール E-mail : ha3602@pref.shiga.jp

ファックス FAX : 0749-82-2654

〒529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田1234